



1月12日 市町村広報コンクール

広報しょうわ県3連覇・写真の部も最高賞

市町村広報コンクール(群馬県主催)の審査が行われ、広報しょうわ11月号が広報紙部門・町村の部で最高賞となる1席を、また同表紙写真「がんばれ未来の消防団」が写真部門でも1席を受賞しました。広報紙部門での最高賞受賞は3年連続となり、両部門で全国広報コンクールに推薦されることになりました。

本号では「防火意識を高める」と題した特集を掲載。審査員からは「さまざまな角度からアプローチした特集をはじめ、質実ともに充実した内容だった。表紙の写真も秀逸」などと講評をいただきました。取材にご協力いただいた方々に感謝するとともに、さらに役立つ広報紙を目指し発行していきます。



両部門で県1席を受賞した11月号

市町村広報コンクール審査結果(群馬県主催)

◆広報紙部門(町村の部)

- 1席 広報しょうわ 11月号※
- 2席 広報おうら 12月号
- 3席 広報ちよだ 11月号

◆写真部門

- 1席 広報しょうわ 「がんばれ未来の消防団」※
- 2席 広報ぬまた 「昔なつかし 春の喜び」※
- 3席 広報みどり 「神戸の花桃とわたらせ渓谷 鉄道トロッコ列車」

※全国広報コンクール(日本広報協会主催)に推薦されます。広報しょうわは2部門での出品となります。



群馬県優良青年農業者表彰、名誉農業経営士称号授与、農業経営士・青年農業士認定 農業経営のリーダーに表彰状や認定証



優良青年農業者として表彰を受けた加藤さん夫妻

優れた成果をあげ活力ある農業に取り組んでいる優良青年農業者をたたえる表彰式が県庁で行われ、加藤大輔さん・友美さん夫妻(常木)に表彰状が贈られました。加藤さんは「農業を取り巻く厳しい情勢の中、引き続き前向きに取り組みたい」と話していました。

また、優れた農業経営と後進の育成に尽力されている名誉農業経営士として倉澤憲治さん(根岸)に称号記が贈られ、農業の実践的リーダーである農業経営士として稲垣貴謙さん(森下上)、青年農業士として飯塚翔太さん(入沢)にそれぞれ認定証が授与されました。



(左から)名誉農業経営士の倉澤さん、農業経営士の稲垣さん、青年農業士の飯塚さん

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

12月23日 協定締結式 利根保健生協と見守りで連携

村と村社会福祉協議会および、利根保健生活協同組合(大塚隆幸理事長)と「地域見守り活動に関する協定書」を締結しました。これは、利根保健生協の組合員が機関紙配布時などの活動中に、ポストに郵便物がたまっていたり電気がついているのに呼んでも応答がないなど、地域住民の異変に気づいたら村と連携して情報の共有を図るもの。堤村長は「利根保健生協と村および村社会福祉協議会が、村民の安全安心のため連携していただけることをありがたく思う」と述べました。



(左から)大塚理事長、堤村長、新木会長

群馬県女子U-12トレセンメンバー選出 林碧瀬さんが県選抜選手に

村を拠点に活動するサッカークラブ「FC昭和」(和南城寿監督)所属の林碧瀬さん(東小学校5年)が、サッカー女子12歳以下の県選抜選手に相当する、群馬県女子U-12トレセンメンバーに選出されました。今後は、関東大会相当となる試合をはじめとした各種大会に代表選手として出場します。

林さんは「ミッドフィルダー(MF)として、ゴールにつながるようパスをつなぎ、場面によってはゴールも決めたいです」と話していました。



県代表に選ばれた林碧瀬さん

11月19日 吉野秀雄顕彰短歌大会 故板橋きみ江さんに最高賞

本紙「広報文芸」へ長年にわたり短歌を寄せていただき、昨年11月にご逝去された板橋きみ江さん(入原)が生前、第21回吉野秀雄顕彰短歌大会(高崎市)の一般の部で最高賞の吉野秀雄賞を受賞されました。受賞作は「栽培を最後と決めし蒔蒔の葉先に朝のつゆ光りをり」。

黒土短歌会の仲間を支えられ、数多くの作品を残された板橋さんは、ささやかな日常から季節の移り変わりや人々の生活の変化を感じ取り、情景が浮かぶ短歌として丁寧に詠んでこられました。



故板橋きみ江さんの受賞作(右)と手渡された賞状

12月28日 一次産業を考える講演会・意見交換会 なべおさみ氏、下村博文氏が来村

農業や畜産業など一次産業の重要性をテーマとした講演会と意見交換会が村公民館で開かれました。

講演には、農業への造詣が深いコメディアンとなべおさみさん(吉本興業)と、衆議院議員で自民党元政調会長・元文部科学大臣の下村博文さん(高崎市出身)が登場。なべさんは、自身の経験や接点を持つ農業関係者との話題を、下村さんは食料自給率などの統計データの視点から今後の農業支援のあり方を示しました。参加者との間でも活発な意見が交わされました。



登壇した(左から)なべおさみ氏、下村博文氏



1月9日 新年賀詞交歓会 おだやかな新年の訪れを祝う

新年の訪れを祝う賀詞交歓会が、行政関係者や村内企業・各種団体の関係者を招いて村公民館で開催されました。式典では、堤村長が「笑顔と元気を目標として、今年こそは平時に戻って、新たなスタートの年になればと願っています」とあいさつ。村議会の片柳議長も「皆さまにとって健康で笑顔に満ちた年になるよう祈念します」と祝辞が述べられました。

会場では、生越太鼓の皆さんによる見事な和太鼓演奏が披露され、式典に華を添えていました。



素晴らしい一年になるよう万歳三唱



1月15日 道の駅あぐりーむ昭和 無病息災願い「どんど焼き」

道の駅「あぐりーむ昭和」で毎年恒例の「どんど焼き」が行われました。やぐらには各家庭などから持ち寄られたるまや正月飾りが積み、川額八幡宮で宮司を務める竹内博道さんによる祈祷の後、堤村長により点火。燃え上がる炎とともに白い煙が勢いよく立ち昇りました。

この日は、村内外から多くの人々が詰めかけ、火で体を暖めながら今年一年の家内安全や無病息災、新型コロナウイルスの終息を祈っていました。



勢いよく燃え上がるやぐら



11月14日 沼田警察署 小池さんに行方不明者保護で感謝状

行方不明者の保護に貢献した小池光代さん(松ノ木平第一)に沼田警察署の吉井仁署長から感謝状が贈られました。10月28日の昼過ぎ、自宅への帰宅途中だった小池さんは村道を歩く70代男性を発見。薄着の男性が山林に向かって歩いていたのを心配し、男性を保護して110番通報しました。この男性はバス旅行の最中で、休憩先の関越道・赤城高原サービスエリアから行方不明になっていたそうで、小池さんは「もう少し歩けば沢になる場所。危ないと思い夢中で止めた」と話しました。



感謝状を贈られた小池さん



12月20日 沼田警察署 田中さんに特殊詐欺防止で感謝状

特殊詐欺被害を防いだとして、田中結翔さん(森下上)に沼田警察署長から感謝状が贈られました。ローソン昭和村川額店で勤務する田中さんは、12月2日夜、高額電子マネーを購入した村内の70代男性に対応。パソコンがウイルスに感染し、電子マネーを買うよう求めるメッセージが届いたという説明を不審に感じた田中さんは、男性に警察への相談を助言し被害を防ぎました。なお、村では特殊詐欺防止機能付きの電話機などの購入に対し、購入費用を一部補助しています。



吉井仁沼田警察署長から感謝状を贈られた田中さん